

れんごう鳥取



2018年9月1日
No.9



QRコードで
HPへGo!!

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・本川博孝 編集人・若月哲郎
〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: <http://www.rengo-tottori.net>

■平和特集■ つなげよう平和への想い ー連合平和行動in沖縄・広島・長崎に参加ー

連合は平和運動として主に、次の3つの課題に取り組んでいます。

- ① 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
- ② 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
- ③ 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

あわせて、毎年6月～9月に行う「平和4行動(沖縄・広島・長崎・根室)」をはじめ、労働組合や様々な団体・機関と協同して平和運動を推進しており、連合鳥取も積極的に参加しています。



◆平和行動in沖縄◆
6月23日(土)～24日(日)／2人



◆平和行動in広島◆
8月5日(日)～6日(月)／19人



◆平和行動in長崎◆
8月8日(水)～9日(木)／4人



参加者の声

◆「平和行動in根室」は
9月8日(土)～9日(日)
に実施され、連合鳥取
より4人参加する予定
です。

JR連合・
JR西労組
廣澤 正寿さん

広島
広島平和行動への参加は今年で2年目になる。
原爆ドーム周辺での学習では、被爆当時の状況や復興に向けてどのような事が行われていたかを知り、当時の悲惨な様子を学ぶことができた。
原爆の恐ろしさを実感するとともに、世界で唯一の被爆国として世界から原爆がなくなることを強く望む。

運輸労連・
全日通労働組合
武良 瞳さん

広島
初めて「平和行動in広島」に参加して、原爆でどれだけの人の未来が奪われてしまったのか改めて知った。
被爆者の箕牧さんの話を聞いた。実体験を基に話されているので、当時の悲惨な光景が目につかんできた。被爆者の方々の貴重な話は後世に引き継がなければと思った。

日教組・
鳥取県教職員組合
井上 匡央さん

長崎
28年ぶりに長崎平和公園を訪れた。11時2分、黙祷。核兵器廃絶に向け誓う。
昨年採択された「核兵器禁止条約」に日本は参加していない。連合の平和行動を継続し、さらに強化していくべきだと思う。
まずは、政府に態度を改めさせ、条約への参加を進めたい。連合に結集する働く仲間とともに…。

電力総連・
中国電力ユニオン
浦林 啓一さん

沖縄
今回、沖縄の地で米軍基地について賛成、反対それぞれの声を聴く事ができた。
米軍基地問題は当然のことながら簡単に解決できるものではない。僕たちはこれから平和行動などを通じてもっと多くのことを学び、知ることが必要だと痛感した二日間だった。

国公総連・
全農林
川村 和彦さん

広島
平成最後となる広島平和行動に参加した。
今年は「西日本豪雨」で例年通りではなかったと思うが、それを感じさせない広島のみさんの「平和への思い」が伝わってきた。
戦後73年たっても「核の脅威」は変わらないが、広島・長崎の平和行動が、いつの日か「核のない世界」に繋がることを信じている。

自治労・
米子市職員労働組合
坂本 航さん

長崎
今回の平和ナガサキ集会では、被爆者の方々の貴重な証言を聞くことができた。平和を願うためには、過去の過ちを世代を超えて伝えていくことが必要であり、それは我々の使命である。
唯一の被爆国として、戦争放棄国家として、戦争がない平和な未来を我々が描いていかなければならないと強く思う。

自治労・
米子市職員労働組合
吉田 奈央さん

長崎
今回の集会で印象に残ったことは「広島・長崎だけが特別ではない。誰もが核の被害を受ける可能性がある」という言葉。
いつの時代も悲惨な体験をするのは「一般市民」であり、「労働者」である。だからこそ、労働組合が平和運動に取り組む必要性があると強く感じた。

～鳥取県最低賃金が変わります～

(現行) 1時間738円 → 10月5日より 1時間 **762円** (24円up)

■平和特集■ フォトニュース



ー平和行動 in 沖縄ー



ー平和行動 in 広島ー



ー平和行動 in 長崎ー



ー連合鳥取ピースウォークー

※3会場にて「西日本豪雨災害支援カンパ」を実施
ーご協力ありがとうございましたー

鳥取県＜東部＞ピースウォーク



7月28日(土)／とりぎん文化会館

◆映画「この世界の片隅に」上映

中部地域ピースウォーク



7月27日(金)／エキパル倉吉

◆平和学習

講師／池原正雄さん

西部地域ピースウォーク



7月30日(月)／米子市文化ホール

◆アニメ「ジュノー」上映

金属部門連絡会 2018年度「親子ものづくり教室」に76人参加

連合鳥取金属部門連絡会は、8月19日(日)、「第6回親子ものづくり教室」を鳥取県職業訓練センター(ポリテクセンター鳥取)において開催しました。

当初、7月29日(日)の開催を計画していたところ、台風の接近に伴い延期した関係もあり参加者が減少してしまいましたが、「和紙ランプシェード」に20組、「木工小箱」に8組の参加をいただき、合計62人の親子と役員14人に参加いただきました。

『ものづくり』の楽しさを体験していただきながら、普段とは違う親子ふれあいの機会となり、子どもの成長を実感できたのではないかと思います。

■和紙ランプシェード 風船に和紙をのりで張り付けて製作します。和紙を張り付ける作業に苦戦し、途中で風船が割れてしまうアクシデントもありましたが、色紙や色和紙などを張り付け、個性的なデザインのランプシェードを製作しました。

■木工小箱 初めて使う“キリ”での下穴作業に苦戦しましたが、釘を打ち込み小箱を完成させ、小箱の側面などに色付けや装飾を行い、思い思いの小箱を完成させました。

(寄稿 連合鳥取金属部門連絡会 事務局長 河村正之さん)



※連合鳥取金属部門連絡会※

ものづくり産業に携わる電機連合・JAM・自動車総連の3産別で構成。「親子ものづくり教室」は、日本のものづくり産業の発展に向けて、ものづくり産業の魅力を子どもたちに伝え、「ものづくり」の大切さや楽しさを実感してもらうことを目的に毎年開催している。

鳥取市議会議員選挙推薦決定 一投票に行こう！

連合鳥取は、「第9回執行委員会」(2018.8.23)において、鳥取市議会議員選挙に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

組合員みなさまはもとより、ご家族、ご友人、知人みなさまからのご支援もよろしくお願いいたします。

11月11日(日) 告示
11月18日(日) 投開票
※期日前投票も利用して投票に行きましょう



うえた たかはる
上田孝春さん
(70歳/現8期/
部落解放同盟)



ながさかのりお
長坂則翁さん
(70歳/現3期/
国民民主党)



むくだ しょういち
棕田昇一さん
(59歳/現2期/
部落解放同盟)



あきやま ともひろ
秋山智博さん
(63歳/現2期/
国民民主党・部落解放同盟)



あだち たかし
足立考史さん
(63歳/現1期/
自治労)



かつた せんじ
勝田鮮二さん
(63歳/現1期/
国民民主党)

2019年度政策・制度要求 鳥取県知事に手交

8月7日(火)、本川博孝会長、桑村紀幸副会長、田中穂事務局長、吉田正副事務局長が、鳥取県庁を訪れ、平井伸治鳥取県知事に「働き方改革の推進」など34項目からなる「政策・制度要求要請書」を手交しました。また、先月の西日本豪雨のような異常気象や地震などの災害時の避難について、県としての適切な対応を口頭で求めました。



また、県の各担当部局との交渉・協議を8月27日(月)と8月28日(火)に行いました。日程調整がつかなかった一部の部局とは9月議会終了後の10月に実施する予定です。

<部局交渉日程>

8/27 教育委員会・元気づくり
総本部・県土整備部・
福祉保健部

8/28 商工労働部・総務部・
観光交流局・会計管理者・
農林水産部

10月予定 地域振興部・生活環境部・西部総合事務所

西日本豪雨災害 連合鳥取からもボランティアに参加

連合広島からの要請により、8月11日(土)、12日(日)の2日間、延べ20人の組合員が先月の西日本豪雨災害で被災した広島市安芸地区でボランティア作業を行いました。

連合広島のビブスを着けた参加者は、炎天の下、家屋の泥出しなどきつい作業となりましたが、全員無事最後まで従事することができました。

現地は被害甚大で完全復旧までかなりの時間がかかりそうですが、被災されたみなさまが一日も早く普段の生活に戻ることができるよう、連合鳥取としても引き続き様々な支援をしていく予定です。



産別リレー



UAゼンセン
におじゃまします



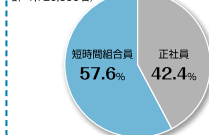
【正式名称】
全国繊維化学食品
流通サービス一般
労働組合同盟

UAゼンセンは生活に関わる様々な産業で働く仲間で構成する全国173万人の組織です!

部門	組合数	組合員数	部会	組合数	組合員数
製造産業	1,025 組合	227,090 名 正社員 217,051名 短時間 9,989名	繊維素材	64 組合	22,640 名
			繊維加工	289組合	23,399 名
			衣料・スポーツ	73 組合	22,075 名
			化学	194 組合	54,495 名
			医薬・化粧品	95 組合	68,397 名
			総合製造	310 組合	36,034 名
流 通	556 組合	1,001,027 名 正社員 329,485名 短時間 671,542名	スーパーマーケット	215 組合	339,638 名
			GMS	27 組合	276,965 名
			住生活関連	49 組合	86,514 名
			百貨店	64 組合	70,229 名
			ドラッグ関連	50 組合	102,517 名
			専門店	97 組合	59,328 名
			家電関連	54 組合	65,832 名
総合サービス	805 組合	498,275 名 正社員 186,136名 短時間 312,139名	フード	147 組合	35,181 名
			フードサービス	73 組合	141,770 名
			ケータリング	31 組合	13,370 名
			インフラサービス	223 組合	27,737 名
			生活サービス	128 組合	31,665 名
			ホテル・レジャー	71 組合	40,821 名
			パチンコ関連	14 組合	27,426 名
			医療・介護・福祉	103 組合	87,289 名
			人材サービス	15 組合	93,016 名
合計	2,428組合、1,726,356 名 (正社員732,686名、短時間993,670名)				

雇用形態別内訳

(正社員:732,686名、短時間:993,670名、計:1,726,356名)



組合員の内訳 (2017年9月現在)

●組合員規模別内訳 ※ユニオンメイトを除く

組合員数	組合数
100名未満	1,237 組合
100名以上 300名未満	468 組合
300名以上 1,000名未満	354 組合
1,000名以上 3,000名未満	203 組合
3,000名以上	124 組合
合計	2,386 組合

ストップ!悪質クレーム(迷惑行為)の署名活動を展開

UAゼンセンでは本年2~6月にかけて、連合の仲間の皆さまにもご協力をお願いし「ストップ!悪質クレーム(迷惑行為)」撲滅に向けた署名活動を展開した結果、おかげさまで176万筆(7月末現在)を超える署名が集まりました。

今後は関係省庁に法制化など必要な対策を求める要請を行い、ハラスメント規制法案の実現や悪質クレーム撲滅を訴え続けていきます。



次回は… 電機連合をご紹介



湯原 俊二

— 緑肥の想い —

※連合鳥取は湯原俊二さんを応援しています！
湯原さんの想いを直接聞いてください。
そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう



第2次安倍政権が発足して6年が経とうとしています。

この間「アベノミクス」「地方創生」「一億総活躍」などのスローガンとは真反対に、所得格差、地域間格差は拡大する一方です。また、森友問題、加計問題に見られるように政治の私物化が極まり、国会でのうその答弁や公文書の改ざん・隠ぺいが行われ、民主主義が危うくなっています。

一方、野党では再編があり、民進党が存続政党で、国民民主党へと変わりました。鳥取県では、民進党鳥取県連所属の自治体議員の全員が、国民民主党へ参画しました。私も仲間の皆さんと行動を共にし、安倍政権を倒すために今一度旗を掲げることに致しました。

近い将来、立憲民主党も含めた野党が再結集を図り、政権交代を実現し、国民の皆さんの生活を支える政治を実現しなければなりません。今後ともご支援を頂きますようお願い申し上げます。

— 支援の輪を広げましょう —

元衆議院議員 湯原俊二

“ザ・議員”

伊藤 保 鳥取県議会議員

今年も梅雨前線が西日本に停滞。7月6日(金)から8日(日)にかけ、西日本の1府10県に大雨特別警報が発表される中、岡山、広島県では甚大な災害が発生しました。

私は、これまで県議会の中で、「ため池の防災対策」について議論してきた経過もあり、8月20日(月)、土石流が流入し次々と決壊した広島県東広島市の三連ため池を現地調査しました。温暖な気候で、400年にわたり壊れたことがないため池が、無残な姿に…。

現地調査で得た情報を分析し、県内のため池防災に生かしていきたいと考えます。



広島ため池災害調査の様子

興治 英夫 鳥取県議会議員

昨年度の質問でこんなことを実現。

- ・道路除雪体制の強化—除雪機械40台を追加。出動基準を積雪5~10cmに引き下げ。大型車すれ違いに幅員6~7mを確保。
- ・小中学校教職員の長時間勤務改善—県教委が市町村教委に改善を要請。目標は時間外勤務10%削減。
- ・人手不足下での職場定着研修への支援—5月に業界・労働団体などと「産業人材育成強化会議」を設置。
- ・農業産地を後継者に継承する仕組みづくり—新品種の植栽や果樹園の維持管理費用を補助。梨400万円/ha、柿200万円/ha。
- ・空き地・空き家対策プロジェクトチーム発足—空き家除却補助制度見直し。来年度予算の事業検討。
- ・放課後児童クラブでの発達障がい児相談・支援充実—発達障害支援センターや療育園、LD等専門員で訪問支援を実施。
- ・婚活支援の「えんトリー」が倉吉未来中心内に4月開設。20歳代の登録料半額に。
- ・19年度県立高校一般入試 5校で初の県外募集実施—対象校と人数は岩美15人、八頭4人、智頭農林3人、境港総合技術6人、日野3人。



てんじんぽんぞ

最近、夏を迎えると暑さが厳しいと感じる。小学生の頃は、夏休みは虫取りや川遊びをして、宿題をする以外は外で一日中遊んだ思い出がある。それに、エアコンのない生活をおくっていた▼しかし、最近ではそのような姿は見かけなくなり、ニュースでよく熱中症の事が伝えられる。家の中でエアコンもかけていても熱中症になり、まさに異常気象だなと感じる▼このような中、西日本豪雨により被災された方々、復旧にたずさわっている方々には、体調には十分注意していただきたい。被災された地域の方々にお見舞い申し上げるとともに、地域の一刻も早い復旧を願う。

(折り鶴)



■連合鳥取第26回定期大会

日時 11月15日(木)

10時30分開会

場所 倉吉未来中心・

小ホール



再生紙を使用しています